

ガザ侵攻のいま

— 新刊『ガザ日記:ジェノサイドの記録』の翻訳者と語る —

【日時】 7月18日(木)12時45分～14時15分

【場所】 神戸市外国語大学 第2学舎505教室

【スピーカー】 中野 真紀子 氏(翻訳家)

【概要】

2023年10月7日にイスラエル軍がガザへの爆撃を始めてから、ガザでの死者は3万人を超えた。

あの日、15歳の息子とともにガザを訪れていたパレスチナ人の著者は以降、他の市民とともに命がけの避難を繰り返すことになる。作家でもある著者が、イギリスの出版社に命がけで届けた戦場と喪失の圧倒的記録。

「空爆のたびに、記憶は瓦礫や破片とともに飛び散り、歴史は消されていく。救急車のサイレンが鳴り響くたびに、誰かの希望が消えていく」

英語、日本語、韓国語など13言語同時出版。



【問合せ先】 研究所グループ研究所班
kouen@office.kobe-cufs.ac.jp